

## 三陸・大船渡夏まつり

### 大輪の花火が夜空を彩る

8月2、3日、キャッセン大船渡や茶屋前岸壁などを会場に、三陸・大船渡夏まつりが行われました。海上七夕歌謡ショーや多彩なステージイベントが行われたほか、市民道中踊りには28団体から1,324人が参加し、まつりを盛り上げました。

花火大会では、8千発の花火が夜空を彩り、震災後初となる「ナイアガラの滝」花火には、見物客から大きな歓声が上がりました。



## キッズサマースクール in けせん2019

### 英語に触れ異文化を学ぶ

8月2日から5日までの間、リアスホールで、気仙地域の3歳児から小学6年生約100人を対象とした国際交流イベントが行われました。

イベントに参加した子どもたちは、アメリカ合衆国・アーカンソー大学（Arkansas University）の先生や学生の指導のもと、英会話やダンス、アメリカンゲームなどを通じて本場の英語に触れ、楽しみながら交流を深めていました。



(7) 広報大船渡 令和元年9月5日号(No. 1158)

▷ 問い合わせ＝市役所 ☎0192@3111

## 盛町灯ろう七夕まつり

### 幻想的な七夕山車の競演



8月6、7日、さかり中央通り商店街を主会場に、盛町灯ろう七夕まつりが行われました。

初日は、願いごとを書いた風船を飛ばす「願いごと風船リリース」で華やかにスタート。各祭組が趣向を凝らして製作した七夕山車の運行や、市民道中踊りなどでにぎわいました。2日目は、盛こども園児による引き七夕などを実施。園児たちは、掛け声を合わせて山車を引きました。

## RUN FORWARD KANPEI みちのくマラソン

### 被災地に届け笑いと元気



8月9日、吉本興業（株）の間寛平さんらお笑いタレントが被災地を走る「KANPEI みちのくマラソン」が本市に到着しました。8回目となる本年は、福島県相馬市をスタートし、釜石市までの3県18市町村を6日間で完走。

寛平さんは、地ノ森応急仮設住宅跡地などに立ち寄り、まちの復興を目の当たりにするとともに、早期復興を願い、市民にエールを送りました。

## トピックス 1

### 少年センター高校生一日補導委員

8月7日、市内ショッピングセンターで、高校生一日少年補導委員による啓発活動を行いました。

この取り組みは、青少年の非行被害防止の意識向上と少年補導委員の活動の周知を目的として、平成27年度から実施。委嘱状交付式には、地元高校生18人、少年補導委員や大船渡警察署員などが出席しました。式後、生徒たちは、少年補導委員とショッピングセンター周辺の店舗や盛町灯ろう七夕まつりの会場などを巡回。啓発チラシの配布などを通じて、少年補導委員の仕事に理解を深めるとともに、青少年の非行被害防止を呼び掛けました。



①戸田市長から委嘱状を受け取る高校1年の和田さん  
②生徒たちは、店舗などを訪問し、積極的に活動しました



## トピックス 2

### ILC講演会～ILCの早期実現を目指して～

8月21日、リアスホールでILC講演会を開催しました。

講演会では、東京大学素粒子物理国際研究センターの山下了特任教授が、「ILC計画に関する最新の動向について」と題し、本年3月に日本政府がILCについて初めて見解を示したことや、ILCの実現による地域への波及効果などについて講演。

続いて岩手県ILC推進局の佐々木淳局長が、「ILCを契機とした地域振興について」と題し、岩手県としてのILC誘致の取り組みや気仙地域の役割などについて講演しました。

参加者は、物流拠点としての大船渡港の重要性や、誘致・実現に向けた地域一体となった取り組みについて理解を深めました。



①ILCを取り巻く最新の状況などについて講演を行う山下特任教授  
②ILCと地域との関わりについて説明する佐々木県ILC推進局長  
③会場には市内外から約520人が参加し、熱心に聴講しました。



(6)